

毎 日 新 聞

2014年(平成26年)12月23日(火)

根室の高潮の 浸水高最大2.8メートル

早大・柴山教授調査

高潮被害が起きた根室市で被災調査を行った早稲田大の柴山知也教授(沿岸防災)は22日、同市の高潮の浸水高は、最大2・8メートルであることを明らかにした。国土交通省の調査に比べ、さらに30センチ高かった。

柴山教授は浸水の痕跡などを19日に調査した結果、同市本町5の根室水産物卸売市場付近で高さ2・8メートルの高潮を記録し、左右からの波が重なり

合った可能性があるという。

今回の高潮は、低気圧が長時間居座り、東の風が反時計回りに北寄りに向きを変え、最初は根室半島の付け根の温根沼付近の湾奥部に北からの強い風が吹き付けて浸水。さらに、北西の風が変わった17日午前9時ごろから根室市街でも浸水し、満潮が重なって大きな被害を出したと、柴山教授は分析している。

柴山教授は「根室以外でも起きる可能性は十分にある。地盤の低い所に住んでいる人は、警報が出たら、高潮が来る可能性があると思った方がよい」と指摘した。

【本間浩昭】